

# 本人本位の支援を 改めて考える

—ある障害者施設の姿から  
見えてきた課題



# 10月17日

(木) pm 7:00~9:00

参加費は無料です

会場:町田市生涯学習センター(町田センタービル6階 学習室1.2)

講師

## 鈴木 敏彦 氏(和泉短期大学 教授)



和泉短大HPの  
教員紹介より

神奈川県 意思決定支援専門アドバイザー、差別解消支援地域協議会委員  
全国障害者生活支援研究会で、「津久井やまゆり園における意思決定支援の現状と課題」  
を講演(2018年)。論文:「障害児支援における意思決定支援及び権利擁護に関する基礎研究」  
『和泉短大研究紀要』第38号、「障害者差別とソーシャルワーク」『ソーシャルワーク研究』  
第175号(2018年)。

「最悪の事件」が起きてしまった、ある障害者施設の支援記録を見ると、「  
「飲食の様子、排泄の回数や状態」などは細かく記録されていました。それ自  
体は必要なことですが、その支援記録からは、「生きがいある暮らし」や「本  
人の幸せ」を見据えた支援は、浮き彫りになりませんでした。

さらに、その施設の日常の支援はマンネリ化し、淡々と業務をこなすような  
状態で、「ささいな見過ごし」や、相互批判のない職員関係が放置されていた  
ような雰囲気さえありました。

改めて、事件のあった障害者施設の姿(背景)から「本人本位の支援とは」  
を考えましょう。

申込

- 町田市生涯学習センター TEL: 042-728-0071 [syougai120@city.machida.tokyo.jp](mailto:syougai120@city.machida.tokyo.jp)
- まちされん(プラスアルファ) TEL: 042-727-4723 [machisaren@gmail.com](mailto:machisaren@gmail.com)